

令和 6 年度栗東市男女共同参画に関する市民アンケート
結果概要・集計（抜粋）

対 象： 18 歳以上の市民 8000 人（無作為）

回答期間：2024 年 9 月 20 日～10 月 31 日

回答方法：WEB 形式

配布数	8,000 人
回答数	1,460 人
回答率	18.25 %

結果概要

（１）男女の役割意識について

「夫は仕事、妻は家庭」という考え方について約 6 割が反対意見の考え方になっています。実際、男女の役割意識は、男性は生活費の確保・高額な支出といった経済的な役割を担っており、女性は家事や育児、家計管理といった家庭内での役割を担っている様子がうかがえます。また、男女平等が進んでいない分野は、特に「政治の場」・「法律や制度」・「社会全体」と回答した人が多く、それらの分野でよりいっそう男女共同参画の促進・啓発に取り組んでいく必要があります。

女性が職業を持つことについては、「家事・育児に影響しない程度なら職業をもつほうがよい」27.37%、「結婚、出産にかかわらず、ずっと職業をもつほうがよい」55.74%という結果から、M字カーブの底上げにつながる女性の就業・活躍支援、仕事しながら子育てがしやすい環境整備に取り組んでいく必要があります。

（２）ワーク・ライフ・バランスについて

家事にかける一日の平均時間は、男性は 1 時間未満の人が約 5 割、女性は 2～4 時間の人が約 5 割であり、男女間で大きな開きがあります。同様に育児にける時間でも女性に大きく負担が偏っている様子がうかがえます。家事時間について、女性は自分の評価とパートナーの評価がほぼ同じに対して、男性は自分が思っているより、パートナー女性からの評価が低い傾向があり、男女の認識に差異があります。男性の家事・育児の参加が促進される取組みを進めていく必要があります。

ワーク・ライフ・バランスについては、「実現できている」・「ある程度実現できている」人が 6 割超であり、引き続き推進していくためには、「仕事と育児や介護が両立できる制度の充実」、「社内で休暇制度などを利用しやすい雰囲気づくり」などを望む声が上がっています。

（３）栗東市の男女共同参画について

栗東市の男女共同参画の取組みについての認知度は低く、栗東市男女共同都市宣言・男女共同参画プランともに 5 年前より「聞いたことがないし内容も知らない人」の割合が高くなっている状況です。男女共同参画社会づくりを推進していくためには、市民に伝わる情報発信、学習機会の提供や周知・啓発に取り組んでいくことが求められます。

今後女性の参画が進むべき分野は、「議員」・「公務員」・「企業の管理職等」と考えている人の割合が多く、女性管理職の登用促進を働きかけていく必要があります。

男女共同参画社会の実現のためには、「男女とも働きやすい労働環境」・「仕事と家庭の両立ができる環境」・「保育施設・介護施設の充実」を望む声が多く上がっています。市として、性別やライフステージにかかわらずだれもが働きやすい環境整備、仕事と家庭の両立支援、保育・介護施設の充実に注力すべきであると考えられます。

集計結果（抜粋）

（１）男女の役割意識について

9_1 生活費の確保（家族の現状）

No.6 同居する家族→1_いる と回答した人への設問

	回答者数	回答者数に対する割合
1_主に男性の役割	691	52.07%
2_主に女性の役割	66	4.95%
3_共同分担	527	39.74%
4_その他	16	1.21%
5_わからない	15	1.12%
6_該当なし	12	0.90%
総計	1,327	100.00%

9_3 家事（家族の現状）

No.6 同居する家族→1_いる と回答した人への設問

	回答者数	回答者数に対する割合
1_主に男性の役割	35	2.61%
2_主に女性の役割	757	57.04%
3_共同分担	509	38.39%
4_その他	15	1.13%
5_わからない	4	0.30%
6_該当なし	7	0.53%
総計	1,327	100.00%

・現状、生活費の確保は主に男性の役割となっている人が半数以上、家事は女性の役割となっている人が半数以上いる。

10_1 あなたの子どもとのかかわり度合

No.6→1_いる No.7→2_子どもがいる No.8→1～5(18歳未満の子どもがいる)
と回答した人への設問 N=444

男性	回答者数	回答者数に対する割合
1_じゅうぶん	66	31.61%
2_ある程度じゅうぶん	116	55.45%
3_あまりじゅうぶんでない	25	12.01%
4_じゅうぶんでない	2	0.93%
総計	209	100.00%

女性	回答者数	回答者数に対する割合
1_じゅうぶん	134	44.37%
2_ある程度じゅうぶん	144	47.66%
3_あまりじゅうぶんでない	21	6.99%
4_じゅうぶんでない	3	0.98%
総計	302	100.00%

・子どもとのかかわりについて、男女とも自分は「じゅうぶん、ある程度じゅうぶん」かかわっていると
感じている方が多い。

10_2 パートナーの子どもとのかかわり度合

No.6→1_いる No.7→2_子どもがいる No.8→1～5(18歳未満の子どもがいる)
と回答した人への設問 N=444

男性	回答者数	回答者数に対する割合
1_じゅうぶん	128	61.23%
2_ある程度じゅうぶん	67	32.09%
3_あまりじゅうぶんでない	10	4.80%
4_じゅうぶんでない	4	1.88%
総計	209	100.00%

女性	回答者数	回答者数に対する割合
1_じゅうぶん	68	22.59%
2_ある程度じゅうぶん	147	48.63%
3_あまりじゅうぶんでない	55	18.22%
4_じゅうぶんでない	32	10.56%
総計	302	100.00%

・子どもとのかかわりについて、パートナーの評価は、男女とも「じゅうぶん、ある程度じゅうぶん」かわっていると感じている人が多い。

11 「夫は仕事、妻は家庭」という考え方について

	回答者数	回答者数に対する割合
1_賛成	66	4.48%
2_どちらかといえば賛成	332	22.74%
3_どちらかといえば反対	515	35.31%
4_反対	358	24.54%
5_わからない	189	12.94%
総計	1,460	100.00%

・「夫は仕事、妻は家庭」という考え方について、「反対、どちらかといえば反対」と考えている人が約 6 割いる。逆の考えも一定数いる。

12 「女の子らしく、男の子らしく」という考え方について

	回答者数	回答者数に対する割合
1_賛成	82	5.57%
2_どちらかといえば賛成	403	27.64%
3_どちらかといえば反対	457	31.30%
4_反対	308	21.09%
5_わからない	210	14.39%
総計	1,460	100.00%

・「女の子らしく、男の子らしく」という考え方について、「反対、どちらかといえば反対」と考えている人が約 5 割いる。逆の考えの方も一定数いる。

13_3 学校教育の場での男女平等について（現状）

	回答者数	回答者数に対する割合
1_男性が優遇	27	1.86%
2_どちらかといえば男性が優遇	106	7.26%
3_平等である	684	46.88%
4_どちらかといえば女性が優遇	57	3.90%
5_女性が優遇	11	0.75%
6_わからない	575	39.35%
総計	1,460	100.00%

・学校教育の場での男女平等について、「平等である」と思っている人が 5 割近くいる。「わからない」という人が 4 割近くいる。

13_4 地域活動の場での男女平等について

性別	回答者数	回答者数に対する割合
1_男性が優遇	124	8.49%
2_どちらかといえば男性が優遇	357	24.46%
3_平等である	396	27.19%
4_どちらかといえば女性が優遇	96	6.56%
5_女性が優遇	23	1.57%
6_わからない	464	31.74%
総計	1,460	100.00%

- ・地域活動の場での男女平等について、「平等である」と思っている人が3割もいない。

13_5 政治の場での男女平等について（現状）

	回答者数	回答者数に対する割合
1_男性が優遇	578	39.54%
2_どちらかといえば男性が優遇	538	36.84%
3_平等である	152	10.46%
4_どちらかといえば女性が優遇	6	0.41%
5_女性が優遇	4	0.27%
6_わからない	182	12.48%
総計	1,460	100.00%

- ・政治の場での男女平等について、「男性が優遇、どちらかといえば男性が優遇」と思っている人が7割以上いる。

13_6 法律や制度のうえでの男女平等について（現状）

	回答者数	回答者数に対する割合
1_男性が優遇	213	14.59%
2_どちらかといえば男性が優遇	442	30.26%
3_平等である	366	25.15%
4_どちらかといえば女性が優遇	87	5.93%
5_女性が優遇	39	2.67%
6_わからない	313	21.40%
総計	1,460	100.00%

- ・法律や制度のうえでの男女平等について、「男性が優遇、どちらかといえば男性が優遇」と思っている人が4割以上いる。

13_7 社会全体での男女平等について（現状）

	回答者数	回答者数に対する割合
1_男性が優遇	224	15.32%
2_どちらかといえば男性が優遇	647	44.30%
3_平等である	183	12.60%
4_どちらかといえば女性が優遇	113	7.72%
5_女性が優遇	34	2.32%
6_わからない	259	17.75%
総計	1,460	100.00%

・社会全体での男女平等について、「男性が優遇、どちらかといえば男性が優遇」と思っている人が6割近くいる。

15 地域意思決定をする立場への参画について

	回答者数	回答者数に対する割合
1_主に男性がすべき	33	2.26%
2_主に女性がすべき	15	1.03%
3_性別は関係ない	1,412	96.71%
総計	1,460	100.00%

・地域意思決定をする立場への参画について、「性別は関係ない」と思っている人が大多数で9割以上いる。

16 企画や方針決定過程への女性の参画が少ない理由

	回答者数	回答者数に対する割合
1_男性優位の組織運営	312	21.36%
2_家族の支援・協力が得られない	216	14.75%
3_女性の能力開発の機会が不十分	73	5.07%
4_女性活動を支援する人的ネットワーク不足	69	4.70%
5_家庭・職場・地域における性別役割分担や性差別の意識	217	14.89%
6_女性側の積極性が十分でない	215	14.76%
7_女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない	229	15.64%
8_制度や税制などの社会のしくみが女性に不利にできている	71	4.86%
9_その他	58	3.97%
総計	1,460	100.00%

資料 2

・企画や方針決定過程への女性の参画が少ない理由としては、男性優位の組織運営、家族の協力、性別役割分担や性差別の意識、女性側が消極的、女性参画を積極的に進める人がいないなどさまざまな要因があると考えている人が多い。

17 女性が職業をもつことについて

性別	回答者数	回答者数に対する割合
1_女性は職業をもたないほうがよい	10	0.68%
2_結婚するまでは、職業をもつほうがよい	8	0.55%
3_子どもができるまでは、職業をもつほうがよい	16	1.09%
4_子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい	97	6.63%
5_家事・育児に影響しない程度なら職業をもつほうがよい	400	27.37%
6_結婚、出産にかかわらず、ずっと職業をもつほうがよい	813	55.74%
7_わからない	116	7.94%
総計	1,460	100.00%

・「家事・育児に影響しない程度なら職業をもつほうがよい」、「結婚、出産にかかわらず、ずっと職業をもつほうがよい」を合わせると、約 8 割以上の人が結婚・出産しても女性の職業をもつことに肯定的である。

(2) ワーク・ライフ・バランスについて

18_1 あなたが家事にかかる一日の平均時間

No.7→1_配偶者がいる と回答した人への設問

男性	回答者数	回答者数に対する割合
1_1 時間未満	253	51.78%
2_1～2 時間未満	161	33.03%
3_2～3 時間未満	55	11.28%
4_3～4 時間未満	11	2.27%
5_4～5 時間未満	6	1.23%
6_5 時間以上	2	0.41%
総計	488	100.00%

女性	回答者数	回答者数に対する割合
1_1 時間未満	14	2.35%
2_1～2 時間未満	91	15.30%
3_2～3 時間未満	185	31.15%
4_3～4 時間未満	137	23.02%
5_4～5 時間未満	81	13.59%
6_5 時間以上	87	14.59%
総計	595	100.00%

・あなたが家事にかかる一日の平均時間は、男性は1時間未満の人が約5割いる。女性は2～4時間の人が約5割いる。

18_2 パートナーが家事にかかる一日の平均時間

No.7→1_配偶者がいる と回答した人への設問

男性	回答者数	回答者数に対する割合
1_1 時間未満	20	4.11%
2_1～2 時間未満	96	19.68%
3_2～3 時間未満	157	32.17%
4_3～4 時間未満	101	20.69%
5_4～5 時間未満	47	9.59%
6_5 時間以上	67	13.75%
総計	488	100.00%

女性	回答者数	回答者数に対する割合
1_1 時間未満	382	64.17%
2_1～2 時間未満	152	25.56%
3_2～3 時間未満	47	7.91%
4_3～4 時間未満	5	0.84%
5_4～5 時間未満	3	0.51%
6_5 時間以上	6	1.01%
総計	595	100.00%

・パートナーが家事にかかる一日の平均時間は、男性はパートナーに対して、約5割が2～4時間と回答している。女性はパートナーに対して、約6割以上の人が1時間未満と回答している。

・女性は自分の評価とパートナーの評価がほぼ同じに対して、男性は自分が思っているより、パートナーの女性からの評価が低い。

19_1 あなたが育児にかかる一日の平均時間

No.6→1_いる No.7→2_子どもがいる No.8→1～5(18歳未満の子どもがいる)
と回答した人への設問

男性	回答者数	回答者数に対する割合
1_1 時間未満	89	43.87%
2_1～2 時間未満	58	28.83%
3_2～3 時間未満	33	16.45%
4_3～4 時間未満	7	3.45%
5_4～5 時間未満	9	4.41%
6_5 時間以上	6	2.99%
総計	202	100.00%

女性	回答者数	回答者数に対する割合
1_1 時間未満	29	10.19%
2_1～2 時間未満	63	22.25%
3_2～3 時間未満	37	13.05%
4_3～4 時間未満	21	7.34%
5_4～5 時間未満	28	9.88%
6_5 時間以上	106	37.30%
総計	284	100.00%

・あなたが育児にかかる一日の平均時間は、男性は 1 時間未満が約 4 割いる。女性は 5 時間以上が 4 割近くいる。

19_2 パートナーが育児にかかる一日の平均時間

No.6→1_いる No.7→2_子どもがいる No.8→1～5(18 歳未満の子どもがいる)

と回答した人への設問

男性	回答者数	回答者数に対する割合
1_1 時間未満	24	11.87%
2_1～2 時間未満	43	21.21%
3_2～3 時間未満	40	19.77%
4_3～4 時間未満	26	12.90%
5_4～5 時間未満	12	5.94%
6_5 時間以上	57	28.31%
総計	202	100.00%

女性	回答者数	回答者数に対する割合
1_1 時間未満	143	50.38%
2_1～2 時間未満	67	23.59%
3_2～3 時間未満	41	14.45%
4_3～4 時間未満	12	4.22%
5_4～5 時間未満	10	3.52%
6_5 時間以上	11	3.85%
総計	284	100.00%

・パートナーが育児にかかる一日の平均時間は、男性はパートナーに対して、約 3 割が 5 時間以上と回答している。女性はパートナーに対して、約 5 割以上の人が 1 時間未満と回答している。

・男女とも育児に関しては、自分の評価よりパートナーからの評価が低い傾向にある。

20_1 あなたは、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現できていると思いますか。

No.4→1～3（職業あり） または

No.7→1_配偶者がいる と回答した人への設問

性別	回答者数	回答者数に対する割合
1_実現できている	185	13.66%
2_ある程度実現できている	633	46.75%
3_実現できている部分が少ない	228	16.85%
4_実現できていない	202	14.93%
5_わからない	106	7.81%
総計	1,354	100.00%

・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）は、「実現できている、ある程度実現できている」人は約 6 割いる。

21 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進するために、どのような取組みが必要だと思いますか。【○は 3 つまで】

N= 1,460

選択肢	回答数	回答割合
1_企業の経営者がリーダーシップを発揮して取り組む	344	8.92%
2_仕事と育児や介護が両立できる制度の充実を図る	933	24.20%
3_企業が実施している制度などを従業員に積極的にPRし、理解を深める	115	2.98%
4_社内で休暇制度などを利用しやすい雰囲気をつくる	791	20.51%
5_ノー残業デーを設けるなど、労働時間を見直す	244	6.33%
6_非正規で働く人の賃金など処遇を改善する	356	9.23%
7_社会全体に理解が進むよう啓発する	291	7.55%
8_企業の取組みに対して、行政が情報の提供や資金的支援などを行う	179	4.64%
9_保育や介護などの施設やサービスを充実させる	508	13.17%
10_特に必要なことはない	15	0.39%
11_わからない	43	1.12%
12_その他	37	0.96%
計	3,856	100.00%

・ワーク・ライフ・バランスを推進するための必要な取組みとして、「仕事と育児や介護が両立できる制度の充実を図る」、「社内で休暇制度などを利用しやすい雰囲気をつくる」と回答した人の割合が約 2 割いる。

(3) 栗東市の男女共同参画について

22_5 栗東市男女共同参画都市宣言 をご
存じですか

性別	回答者数	回答者数に対する割合
1_内容を知っている	77	5.33%
2_聞いたことはあるが内容は知らない	496	33.87%
3_聞いたことがないし内容も知らない	887	60.80%
総計	1,460	100.00%

22_6 栗東市ひとが輝くパートナープラ
ン をご存じですか

性別	回答者数	回答者数に対する割合
1_内容を知っている	44	3.00%
2_聞いたことはあるが内容は知らない	245	16.82%
3_聞いたことがないし内容も知らない	1,171	80.17%
総計	1,460	100.00%

22_8 きらめき Ritto をご存じですか

性別	回答者数	回答者数に対する割合
1_内容を知っている	50	3.41%
2_聞いたことはあるが内容は知らない	299	20.54%
3_聞いたことがないし内容も知らない	1,111	76.05%
総計	1,460	100.00%

・栗東市で取り組んでいる男女共同参画都市宣言・男女プラン・きらめき RITTO に関しては、「聞いたことがないし内容も知らない人」が 6 割以上いる。

- 23 男女共同参画社会の実現のために、栗東市が今後特に力を入れるべきだと思うものはどれですか。【〇は3つまで】

N= 1,460

選択肢	回答数	回答割合
1_学校教育や社会教育、生涯学習の場における男女平等教育の推進する	494	12.88%
2_母性の保護や生涯を通じた男女の性と健康を守る	137	3.57%
3_男女間のあらゆる暴力をなくす	205	5.35%
4_男性や女性の生き方や悩みに関する相談窓口を充実させる	158	4.12%
5_男女がともに働きやすい労働環境をつくる	892	23.27%
6_女性の起業や再就職などのチャレンジを支援する	255	6.65%
7_仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境づくりを進める	698	18.21%
8_政策・方針決定の場への女性の参画を進める	161	4.20%
9_地域における活動の支援や地域のリーダーとなる人材を育成する	101	2.63%
10_公的サービス（保育所、学童保育、介護施設等）の充実	678	17.68%
11_男女共同参画条例の制定	28	0.73%
12_その他	27	0.70%
計	3,834	100.00%

・男女共同参画社会の実現のためには、男女とも働きやすい労働環境、仕事と家庭の両立ができる環境、保育施設・介護施設の充実を望む声が多い。

- 24 あなたは、今後どのような分野で、特に女性の参画が進むべきだと思いますか。
【当てはまるものすべて】

N= 1,460

選択肢	回答数	回答割合
1_国会・県議会・市町村議会などの議員	1,061	21.80%
2_国の省庁、県庁、市町村の役所など	734	15.08%
3_弁護士、医師などの専門職	453	9.31%
4_自治会、PTAなどの役員	344	7.07%
5_企業の管理職、労働組合の幹部	749	15.39%
6_国連などの国際機関	353	7.25%
7_建設業などの女性の少ない職場	236	4.85%
8_理工系などの女性の少ない分野の学生	354	7.27%
9_大学、研究所などの研究者	299	6.14%
10_農林業団体などの役職	212	4.36%
11_その他	71	1.46%
計	4,866	100.00%

・議員、公務員、企業の管理職等で女性の管理職が進むべきと考えている人が多い。

- 25 性別や性の意識に関係なく、仕事も生活も大切にしながら栗東市に住み続けたいと感じるためには、なにが必要だと思いますか。【〇は3つまで】

N= 1,460

選択肢	回答数	回答割合
1_施設（保育、介護）に入所しやすいこと	595	14.70%
2_安心して子どもを育てられる環境、居場所、他者とのつながり	543	13.42%
3_子育て支援拠点の多機能化（例：子どもの一時預かり（病児保育含む）、子育てに関する地域活動）	322	7.96%
4_介護サービスが受けやすいこと	384	9.49%
5_安心して介護ができる環境、居場所、他者とのつながり	272	6.72%
6_買い物などの日常生活に不便がないこと	578	14.28%
7_安全・安心な暮らし	616	15.22%
8_地域とのつながりがあること	90	2.22%
9_家族や周囲の理解と協力があること	94	2.32%
10_在宅勤務など柔軟な働き方が増えること	116	2.87%
11_女性が起業・再就職しやすい環境があること	57	1.41%
12_給与などで男女間格差をなくすこと	174	4.30%
13_仕事と子育て・介護の両立支援に熱心な企業の周知	166	4.10%
14_その他	40	0.99%
計	4,047	100.00%

・栗東市に住み続けたいと感じるためには、安全・安心な暮らし、日常生活の利便性、保育・介護施設への入居のしやすさが必要と感じている人が多い。